

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 30 日 (2012.8.30)

【公開番号】特開 2010-253186 (P2010-253186A)

【公開日】平成 22 年 11 月 11 日 (2010.11.11)

【年通号数】公開・登録公報 2010-045

【出願番号】特願 2009-109648 (P2009-109648)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 11 日 (2012.7.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技に係わる演出を行う複数の演出装置を備える遊技機において、

前記複数の演出装置を複数グループに分割し、該分割されたグループに属する演出装置を制御するためのグループ単位制御手段を各グループ毎に設けるとともに、

複数の前記グループ単位制御手段を統括的に制御するグループ統括制御手段を設け、

該各グループ単位制御手段と該グループ統括制御手段とを、複数の接続線を一体化して構成したハーネスによりコネクタを介して接続し、

該ハーネスは、

前記グループ統括制御手段から前記グループ単位制御手段へタイミング信号を伝達するタイミング信号線と、

前記グループ統括制御手段から前記グループ単位制御手段へ演出制御データを伝達するデータ線と、

前記グループ単位制御手段に電源電圧を供給するための電源線と、

を含んでおり、

前記グループ統括制御手段は、

前記グループ単位制御手段へのデータ送信を開始する際に、前記タイミング信号線の信号レベルをハイレベルに維持させた状態で前記データ線の信号レベルをハイレベルからロウレベルに変化させることで送信開始を指令する送信開始指令手段と、

前記送信開始の指令後に、前記データ線の信号レベルを送信データに対応する信号レベルに設定しながら、前記タイミング信号線の信号レベルを繰り返し変化させることによって、前記グループ単位制御手段にデータを順次送信するとともに、該データ線の信号レベルの変更を、前記タイミング信号線の信号レベルがロウレベルとなっている状態で行う送信手段と、

前記グループ単位制御手段へのデータ送信を終了する際に、前記タイミング信号線の信号レベルをハイレベルに維持させた状態で前記データ線の信号レベルをロウレベルからハイレベルに変化させることで送信終了を指令する送信終了指令手段と、

を備え、

前記グループ単位制御手段は、

前記ハーネスを構成するデータ線から、当該グループ単位制御手段宛の演出制御データ

を取り込む取込手段と、

前記ハーネスを構成する電源線からの電源供給が開始された場合に、当該グループ単位制御手段自身の初期化を行う初期化手段と、

を備えるとともに、該演出制御データに基づいて対応するグループに属する演出装置を制御することを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００２】

主制御部と周辺制御部との間、特に主制御部から周辺制御部への信号の伝達方式を改良することにより、信号線系統の煩雑化を解消し、電氣的構成の簡略化を図ることができる遊技機が知られている。この遊技機では、主制御部から周辺制御部への指令信号の伝送を、作動指令対象となる周辺制御部を特定可能な状態にて行う。これにより、複数の周辺制御部への信号伝送経路を共通化することが可能となる。その結果、指令信号の伝達経路を個々の周辺制御部毎に形成する態様と比較して信号線の数的大幅に減らすことができ、また、主制御部側の指令信号の出力ポートを統合できるので信号線系統の煩雑化を解消し、電氣的構成の簡略化を図ることができる（例えば、特許文献１参照）。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

【特許文献１】特開２００１－０３８０２１号公報

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

しかしながら、特許文献１に開示された遊技機では、これ以上に基板間の配線を少なくすることはできなかった。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、グループ統括制御手段とグループ単位制御手段とを接続する接続線の数を削減できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、遊技に係わる演出を行う複数の演出装置を備える遊技機において、前記複数の演出装置を複数グループに分割し、該分割されたグループに属する演出装置を制御するためのグループ単位制御手段を各グループ毎に設けるとともに、複数の前記グループ単位制御手段を統括的に制御するグループ統括制御手段を設け、該各グループ単位制御手段と該グループ統括制御手段とを、複数の接続線を一体化して構成したハーネスによりコネクタを介して接続し、該ハーネスは、前記グループ統括制御手段から前記グループ単位制御手段へタイミング信号を伝達するタイミング信号線と、前記グループ統括制御手段から前記グループ単位制御手段へ演出制御データを伝達するデータ線と、前記グループ単位制御手段に電源電圧を供給するための電源線と、を含んでおり、前記グループ統括制御手段は、前記グループ単位制御手段へのデータ送信を開始する際に、前記タイミング信号線の信号レベルをハイレベルに維持させた状態で前記データ線の信号レベルをハイレベルからロウレベルに変化させることで送信開始を指令する送信開始指令手段と、前記送信開始の指令後に、前記データ線の信号レベルを送信データに対応する信号レベルに設定しながら、前記タイミング信号線の信号レベルを繰り返し変化させることによって、前記グループ単位制御手段にデータを順次送信するとともに、該データ線の信号レベルの変更を、前記タイミング信号線の信号レベルがロウレベルとなっている状態で行う送信手段と、前記グループ単位制御手段へのデータ送信を終了する際に、前記タイミング信号線の信号レベルをハイレベルに維持させた状態で前記データ線の信号レベルをロウレベルからハイレベルに変化させることで送信終了を指令する送信終了指令手段と、を備え、前記グループ単位制御手段は、前記ハーネスを構成するデータ線から、当該グループ単位制御手段宛の演出制御データを取り込む取込手段と、前記ハーネスを構成する電源線からの電源供給が開始された場合に、当該グループ単位制御手段自身の初期化を行う初期化手段と、を備えるとともに、該演出制御データに基づいて対応するグループに属する演出装置を制御する。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

本発明によると、タイミング信号線及びデータ線だけを用いて、データの送信開始と送信終了をグループ単位制御手段に通知できるので、基板間の配線をさらに少なくすることができる。

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】